

ごあいさつ

我々人類は、21世紀を迎えました。

科学技術の発展による豊かな社会を築いた20世紀は、同時に地球環境汚染や資源の大量消費による地球資源枯渇さえ懸念される状況をも生み出していました。

21世紀は、この先、人類が豊かな地球環境を享受し、繁栄してゆくための重要な岐路となる世紀であると考えられます。

我々は、人類生存の基盤であるこのかけがえのない地球環境を、我々の子孫へ継承してゆく義務があります。このためには環境と調和した人類の営み、循環型社会の構築が必須であり、従来の大量消費、大量廃棄からの転換が求められています。

当社はこうした時代にあって、「地球環境あつての人類」、「人類あつての企業」、このことをあらためて認識し、地球環境との調和を重要な経営課題として活動してまいります。

当社は従来、産業基盤に関係する事業に深く係ってまいりましたが、これらの事業は環境との関連が非常に強く、これまでも、たとえば、銅・アルミのリサイクル使用はもとより、超高压電力ケーブル、光ファイバケーブル、WDM伝送技術開発などは豊かな社会の実現に貢献すると共に、省エネルギー、省資源など地球資源保護にも寄与するものであります。

今後も高度の技術を駆使した環境調和製品の開発により、地球環境保全、資源保護に貢献してまいります。

一昨年、当社はISO14001認証を2002年度までに全事業所で取得をすることを約束、千葉、三重事業所に引き続き、2000年度は平塚、大阪、蒲原の3事業所で認証を取得し、他の事業所も予定通りに活動しております。また、有機塩素系化合物の削減、省エネルギー活動、産業廃棄物削減、特定フロンの使用全廃などの環境保全活動並びに環境情報の開示などに積極的に努めてまいりました。

ここに、2000年度を中心とした当社の環境保全への取り組みを報告書としてまとめました。まだまだ不十分なところがあると思われれます。皆様方よりの忌憚の無いご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長 古河 潤之助